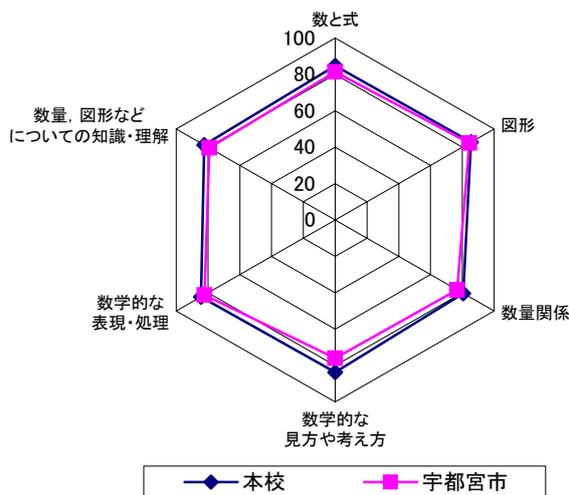


宇都宮市立国本中学校第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	84.8	81.5
	図形	85.5	84.3
	数量関係	80.5	76.8
観点別	数学的な見方や考え方	83.6	76.0
	数学的な表現・処理	84.4	82.3
	数量、図形などについての知識・理解	82.4	79.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (84.8%)	・平均正答率は宇都宮市の平均より3.3ポイント高い。しかしながら、問題別に見ると、式の展開や因数分解に関する問題の正答率が、宇都宮市の平均を若干下回っている。	・乗法公式、因数分解の公式を利用する計算問題の練習量を増やし、正確に処理する力を身につけさせたい。
図形 (85.5%)	・平均正答率は宇都宮市の平均より1.2ポイント高い。内容別に見ると、三角形の相似に関する問題では、すべて宇都宮市の平均を上回っている。しかし、円周角の定理を用いる問題において、正答率が3.1ポイント下回る結果になっている。	・円周角、中心角について正しく理解させ、円周角の定理を用いて角度を求める問題の練習量を増やしたい。反復練習を行うことで、図の見誤りなどのケアレスミス無くしていきたい。
数量関係 (80.5%)	・平均正答率は宇都宮市の平均より3.7ポイント高い。特に、2乗に比例する関数の変域に関わる問題では、宇都宮市の平均を大きく上回った。しかしながら、関数の式を求める問題では2.8ポイント下回る結果になっている。	・関数を表現する、表・式・グラフのうち、式は x と y の対応を視覚的に捉えることができない。式から x と y の組を具体的に求める作業を増やすなどして、式と関数のイメージを結び付けさせたい。